



2026年6月23日

各位

会社名 株式会社一蔵
 代表者名 代表取締役社長 河端義彦
 (コード：6186 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役財務経理本部長 岡田孝二
 (TEL：03-5297-5151)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2026年6月23日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて当社の現状を分析・評価し、改善に向けた方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状分析・評価

① ROE

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2021年3月期に親会社株主に帰属する当期純損失2,454百万円を計上し、純資産が減少したこともあり、2022年3月期は18.1%、2023年3月期は16.1%、2024年3月期は14.8%と3期続けて10.0%を超えて推移していましたが、2025年3月期、2026年3月期は当期純損失を計上したことから、現状において当社の認識する株主資本コストを上回る資本収益性を達成できておりません。

② 株価/PBR

ROEの低下に呼応する形で株価も下落し、2025年3月期末には0.49倍まで低下いたしました。2026年3月期末では0.75倍となっており、現時点におきましても1倍を超える状況に至っておりません。

(2026年3月末の財務数値、株価を基準に算出)

資本収益性		資本コスト		市場評価	
ROE	△40.7%	株主資本コスト	5.17%	PBR	0.75倍

(単位：百万円)

(株)一蔵 連結	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
売上高	18,567	19,747	20,429	19,932	19,446
営業利益	510	553	266	123	△129
営業利益率(%)	2.7	2.8	1.3	0.6	△0.7
経常利益	625	570	331	105	△85
当期純利益	617	597	629	△96	△1,441
ROE(%)	18.1	16.1	14.8	△2.2	△40.7
株価(円/3月末)	377	571	579	391	369
PBR(倍)	0.61	0.79	0.70	0.49	0.75

- ③ 売上高は、2024年3月期を境に減収基調に変化しております。
- ④ 売上高に占める販売費及び一般管理費の比率が増加し、営業利益を低下させる要因のひとつとなっております。

2. 改善に向けた方針・目標

資本コストを上回る利益を創出するために、当該コストを定期的に把握・検証するとともに、財務健全性を確保しつつ、当社にとって最適な資本構成を追求してまいります。

具体的な目標としては、PBR1倍超の早期実現、ROE10%台の回復を目指してまいります。

3. 具体的な取組

① 国内事業の収益性改善

・和装事業

イ) 投資効率を重視した店舗のスクラップ&ビルドの推進。

ロ) 広告宣伝費のコントロールによる、営業利益率の向上。

・ウエディング事業

イ) トレンドを反映した新スタイルの提案による成約・施行組数の拡大。

ロ) 名古屋「百花籠」内へのフォトスタジオ新設等による、「フォトウエディング」需要の取り込み。

② 中国事業の収益性改善

イ) 賃借料の減額交渉等による徹底的なコスト削減の推進。

ロ) 上海「虹橋店」の資産譲渡による事業ポートフォリオの最適化と、残る「大寧店」への経営資源集中による早期の業績回復。

③ 配当方針の変更

・安定配当方針からDOE（純資産配当率）3.0%を基準とする方針への変更。

・従来の「年1回（期末）」から「年2回（中間・期末）」への変更。

※ 2026年5月13日付「配当方針の変更に関するお知らせ」にて、2027年3月期からの上記方針への変更を開示しております。

④ IRの強化

・個人投資家向けイベントへの参加

・機関投資家からの要望に応じた個別ミーティングの実施

・決算補足説明資料の内容充実

・中期経営計画の開示（2027年3月期 第3四半期中の開示を予定しております。）

以 上